

第112号議案 平成29年度長崎市一般会計補正予算（第5号）

目次	ページ
1 1.0款2項1目 小学校整備検討費 PFI導入可能性調査費	1 ~ 2
2 1.0款6項2目 【単独】公民館施設整備事業費 出津地区公民館	3 ~ 5

教育委員会

平成29年11月



予 算 説 明 書					事 業 名	補 正 額
ページ	款	項	目	番号		
52～53	10 教育費	2 小学校費	1 学校管理費	2-1	小学校整備検討費 P F I 導入可能性調査費	千円 5, 4 0 0

## 1 概 要

小島小学校は、最も古い校舎が昭和5年5月建築で既に築87年が経過し、校舎の老朽化が進んでいるが、建替対象校であるとの判断から、校舎棟の耐震補強工事も実施していない状況であり、建替えを行う必要がある。

そのため、「長崎市PPP手法の優先的検討方針※」に基づき、小島小学校改築事業に係るPFI手法等の導入可能性調査を行うもの。

※長崎市が民間活力を取り入れた事業手法の積極的な検討と適切な活用を図るため、公共施設等の整備及び運営に当たり従来型手法（市の直営実施）に優先してPPP手法を検討することを目的として、平成29年3月に策定したもの。

対象事業：事業費の総額が10億円以上の公共施設等の整備事業

（参考）他都市PFI手法等による整備実績 小中学校61件（平成29年11月現在）

## 2 事業内容及び事業費内訳

### (1) 業務名

小島小学校校舎等改築事業に係るPFI導入可能性調査業務委託

### (2) 委託期間

平成30年2月～平成30年6月

### (3) 業務内容

- ア VFMの検討
- イ 民間事業者意向調査
- ウ 事業期間の検討
- エ 総合評価

### (4) 事業費内訳

委託料 5, 4 0 0千円

## 3 小島小学校改築事業スケジュール（予定を含む）

平成28年度 取付道路用地買収に係る用地測量・建物調査、土地鑑定評価  
平成29年度～30年度 取付道路用地買収・補償契約、PFI等導入可能性調査

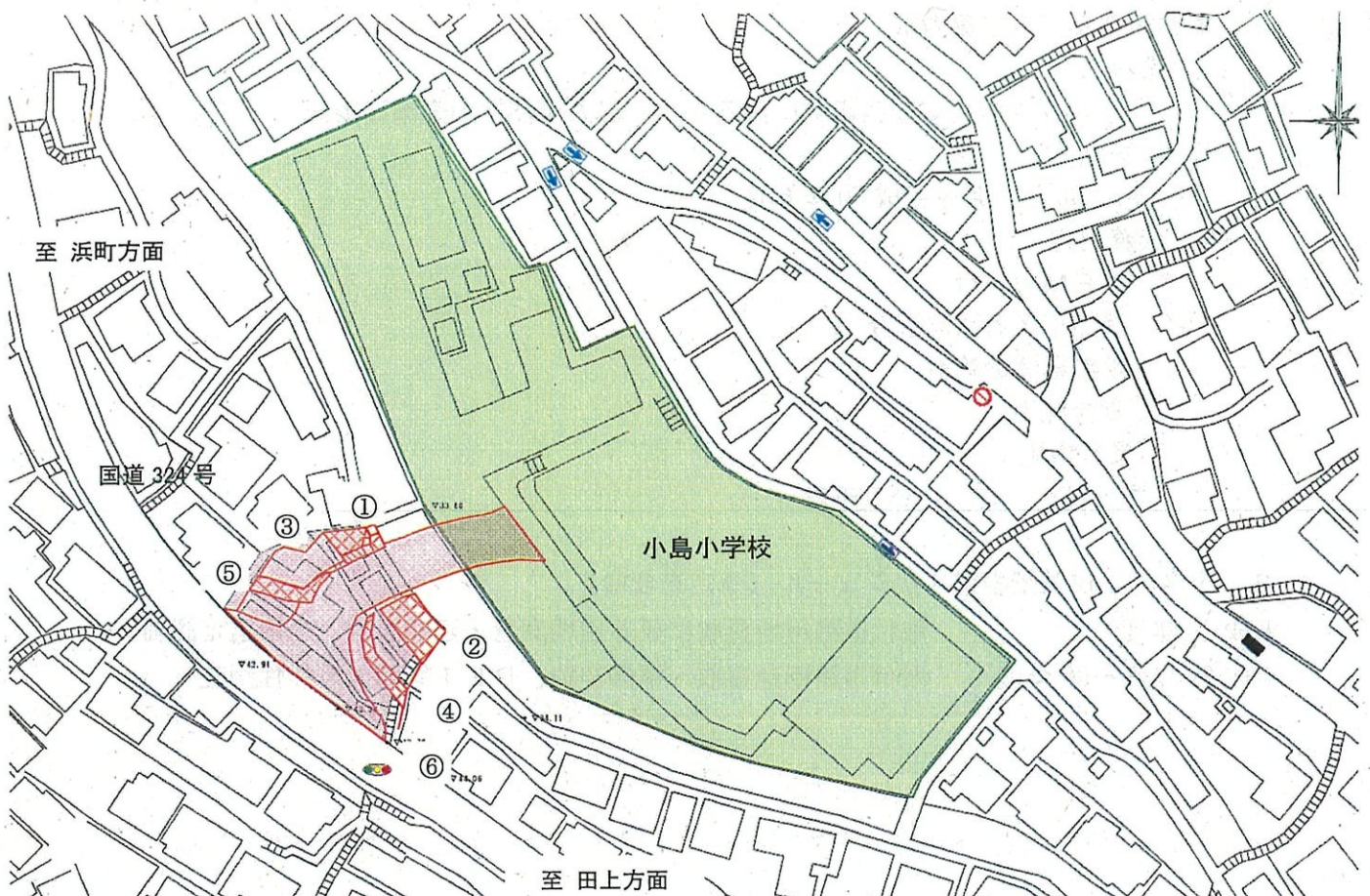
#### 4 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
千円 5,400	千円 -	千円 -	千円 -	千円 -	千円 5,400

#### 【繰越明許費】

事業名	区分	事業費	財産内訳			
			国庫支出金	地方債	その他	一般財源
PFI導入可能性調査費	補正後の額	千円 5,400	千円 -	千円	千円	千円 5,400
	支出予定額	千円 0	千円 -	千円	千円	千円 0
	繰越明許費	千円 5,400	千円 -	千円 -	千円 -	千円 5,400

#### 5 配置図



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
54～ 57	10 教育費	6 社会教育費	2 公民館費	2-1	【単独】公民館施設整備事業費 出津地区公民館	千円 51,800

## 1 概 要

地域住民の学習及び交流の拠点施設である公民館等を、安心・安全に利用できるよう整備し利用促進を図る。

## 2 事業内容

現出津地区公民館の建物は耐震基準を満たしていない(Is値 0.06)ため、地元と協議した結果、耐震性がある近隣の外海子ども博物館の用途を廃止し、出津地区公民館の移転先として整備するもの。

なお、展示室については、展示品を撤去後、来館者の休憩スペースとして活用する。

(1) 事業期間 平成 29～30 年度(繰越予定)

(2) 事業内容

ア 改修工事

49,900 千円

(ア)内部主体改修(男女トイレ改修、壁改修、自動ドア設置など) 17,847 千円

(イ)電気設備改修(照明器具改修など) 8,279 千円

(ウ)給排水等設備改修 6,811 千円

(エ)浄化槽改修(単独浄化槽を合併浄化槽へ改修) 4,481 千円

(オ)バリアフリー改修(スロープ改修、車いすスペース設置など) 4,122 千円

(カ)空調等設備改修 3,206 千円

(キ)その他(調理台取替、ガス設備改修など) 5,154 千円

イ 展示品等の処分業務委託

1,900 千円

	出津地区公民館(現在地)	外海子ども博物館(移転先)
住 所	西出津町 133 番地	西出津町 2794 番地 1
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建て	鉄筋コンクリート造階段式平屋建
建築年	昭和 47 年(築 45 年)	昭和 58 年(築 34 年)
延床合計	342.6 m <sup>2</sup>	348.2 m <sup>2</sup>
室 名	会議室 27.0 m <sup>2</sup>	会議室1 49.6 m <sup>2</sup> 会議室2 22.1 m <sup>2</sup>
	講堂1 94.1 m <sup>2</sup> 講堂2 80.5 m <sup>2</sup>	講堂 189.5 m <sup>2</sup>
	和室1～3 各 17.0 m <sup>2</sup>	和室 19.8 m <sup>2</sup>
	調理実習室 30.0 m <sup>2</sup>	調理実習室 30.5 m <sup>2</sup>
	図書室・事務室 60.0 m <sup>2</sup>	図書室・事務室 36.7 m <sup>2</sup>

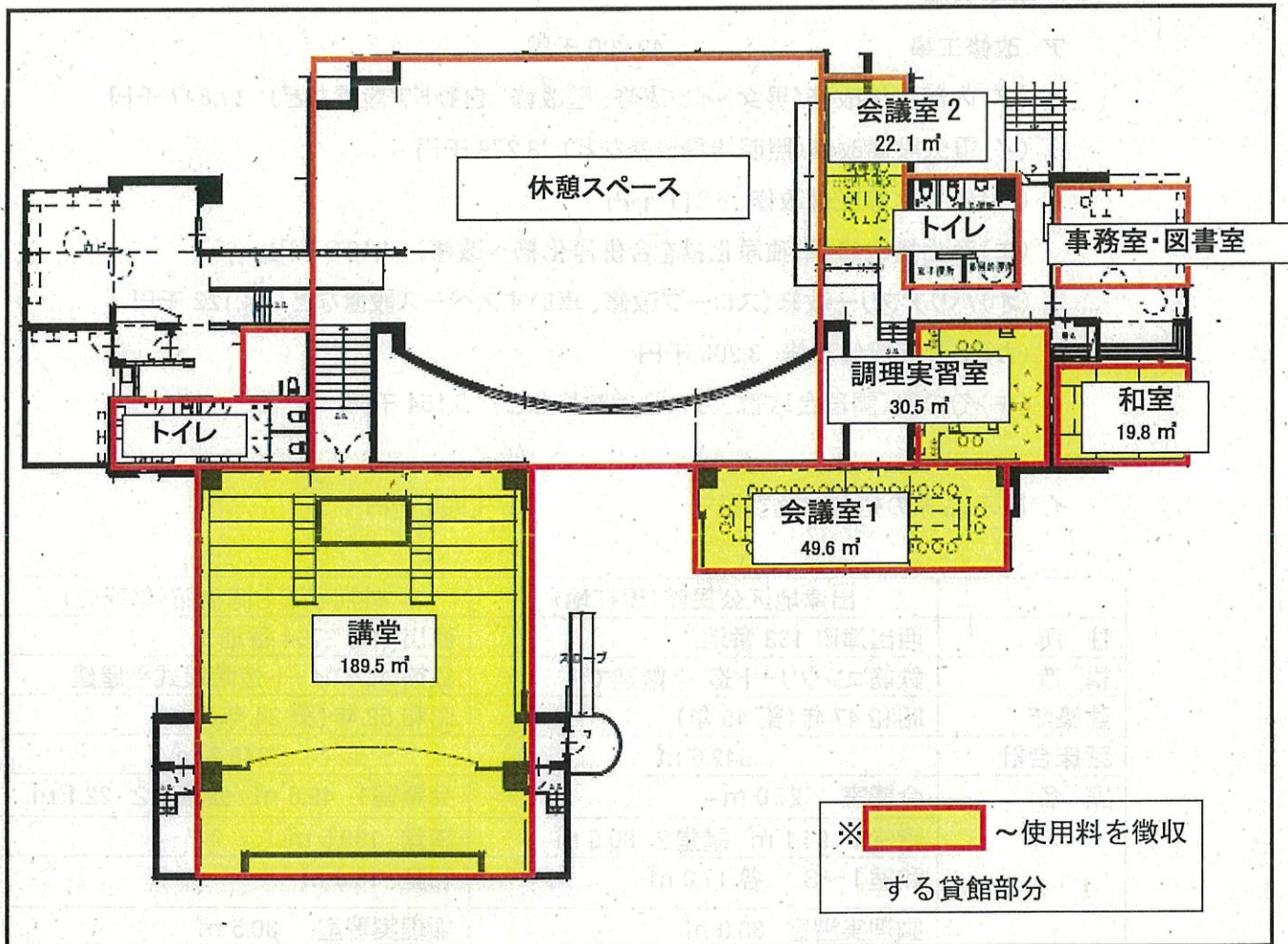
〔位置図〕



〔建物写真〕



(3) 改修レイアウト(案)



### 3 財源内訳

事業費	財源内訳			
	国庫支出金	地方債※1	その他	一般財源※2
千円 51,800	千円 -	千円 49,900	千円 -	千円 1,900

※1 過疎対策事業債 事業費(改修工事)の100%

※2 ※1 対象外の事業費(展示品等の処分業務委託)

#### 【繰越明許費】

区分	事業費	財源内訳			
		国庫支出金	地方債	その他	一般財源
補正後の額	千円 51,800	千円 -	千円 49,900	千円 -	千円 1,900
支出予定額	千円 21,800	千円 -	千円 19,900	千円 -	千円 1,900
繰越明許費	千円 30,000	千円 -	千円 30,000	千円 -	千円 -

